

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（143）」

2. 日時：令和4年9月12日（月）10時00分～10時46分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名

（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	現象規制庁タニです。ヒアリングを始めたいと思います。
0:00:07	今日の内容としては泊発電所3号炉、基準津波に関するコメント回答、中身としては地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせと。
0:00:19	ということで、一応これ今週の金曜日会合を予定してまして、ちょっと今日は急遽、その辺の会合に向けた事実確認ということで、
0:00:31	ヒアリングを設定しました。資料の内容としては、前回は8月22日のヒアリングで、
0:00:39	提出していただいていたもの。
0:00:42	と、基本的には中身一緒に最後の部分的に外しているようなものがあるっていうふうな認識ではいるんですけども、
0:00:51	ちょっと説明したいところなど、
0:00:54	ありましたら、資料の方基本、前と同じってということで認識はしてるんですけど、何かありましたら北海道電力から説明していただけたらと思います。
0:01:06	はい。北海道電力の藪でございますよろしくお願いいたします。資料の方、アオキの方から説明させますけれども、
0:01:14	今、谷さんからありましたように修正箇所のみご説明させていただきたいと思いますよろしくお願いいたします。
0:01:23	北海道電力の青木です。当資料、
0:01:26	パワーポイントのベースのもので説明させていただきます。主な変更点というところで、まず3ページをお願いいたします。
0:01:34	こちら本日の説明概要を記載しておりまして、下段に津波全体の評価のフロー図が掲載しております。
0:01:42	ところの内訳を今回の説明範囲というところで書いておりまして、前回の資料ですと6ポチの基準津波策定を説明範囲に含めておりましたが今回の資料ではここ6ポチ、基準津波策定を、
0:01:56	説明範囲から除外しております。
0:01:58	また資料の右上残されている資料上の論点というところで8ポチのところ、基準津波策定位置での時刻歴は系、こちら前回ですと説明範囲に含めておりましたが今回の資料では除外しております。
0:02:13	この二つを除外することに合わせて以降のページで修正が発生しております。
0:02:19	続きまして、4ページお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	4 ページの右上のところに、スケジュールに関する回答方針を掲載して ございます。このうち、検討項目の 2 ポチの既往津波の検討から 7 ポツ の行政機関による津波評価。
0:02:37	の検討項目掲載してございますが、このうち、ちょっと前回のもので すと明確な説明資料提出時期が掲載しておりましたが、今時点ではスケジ ュールは検討中というところでこちらは記載の適正化させていただいて おります。
0:02:52	続きまして、
0:03:00	54 ページをお願いいたします。
0:03:14	こちら、54 ページでは、放水高前面に関する等、T M A C C S の算出に 関する資料の説明ページとなっております。
0:03:24	こちら 7 月 1 日の会合資料をベースに再掲し一部修正という形で掲載し てございまして、
0:03:31	ここの右上のは系図日本海東縁部に想定される地震に伴う津波につつま してこちら、本来は左の側に記載例というところでケース①、
0:03:42	ケースを記載しているような資料構成になってございましたが前回のも のものと、当ケース①のは形を記載すべきところを、ケース②のは形 が、
0:03:53	記載されていたというところで、左側の記載例に合わせて、右上のケー スをケース①のもので貼り直しております。
0:04:03	続きまして、最後の方の、
0:04:07	今回の資料ですと 104、130。
0:04:13	6 ページに、
0:04:16	136 ページに、
0:04:18	あと地震伴う津波と地震以外のように伴う津波の組み合わせ最大ケー スのまとめが掲載してございまして、あとその後ろに参考資料という形で 前回のものだといろいろ、
0:04:29	掲載してございましたが今回は基準津波の策定というものをさ、説明範 囲から除外することに伴いまして、これ以降の資料についても今回の
0:04:39	から除かせていただいております。今回の変更点に関する説明は以上と させていただきます。
0:04:48	はい。規制庁谷です。説明ありがとうございました。
0:04:53	ちょっと
0:04:54	事実確認としては前、このなんかさっき資料の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:00	は形が間違っていましたってのは前回の会合、これが間違ってた会合ってというのは、前回の会合だけ。
0:05:09	前回の会合と前回のヒアリング
0:05:11	ってということなんですか。
0:05:13	そうですね北海道電力の青木です。具体には7月1日の会合に載せていたは形と、それを再掲という形で、8月22日のヒアリングで載せていたもの、この二つについて間違えていたというところになります。
0:05:27	今回の資料から、こちらの適正化、適切なものに張り直したというところになります。
0:05:34	以上です。
0:05:35	はい。わかりました。確認できました。ちょっとしっかりと資料今回あの会合に向けても確認していただいて、間違いないようにお願いします。
0:05:47	当間今回、今週金曜日の会合ってというのが、基本的にはですね、
0:05:56	今、この間、この今、日、前回のヒアリングから、結構資料の方を再整理されているってということが、
0:06:06	この間のヒアリングでも確認できました。この間の別のヒアリングですね地震の、
0:06:12	それ、それが結構時間がかかるってことがあって、
0:06:18	それ、そこの津波が結構大事な項目としてこれが時間かかるっていうことであればその
0:06:25	どうして時間がかかるのかとかですね今何やってるのかとかですね、そういったことをですね、会合の中では確認して、
0:06:34	要するに
0:06:36	は早めに認識を共有化するって言うような会合になるっていうふうに思っています。
0:06:43	で、なのでちょっとこの、
0:06:47	会合の中で、きつこの聞くようにはなると、項目もあるんですけども、ちょっと今の状況っていうのをですね、
0:06:56	もう一度その会合に当たって、現在以降どういうことをされていて、今資料にはないんですけども、
0:07:06	どの程度まで進んでいるのか。
0:07:10	この辺のことをちょっと簡潔に説明してもらっていいですか。
0:07:23	北海道電力の青木です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:27	前回のヒアリングの際に説明した主な内容としましては、
0:07:33	12 ページのところをお願いいたします。
0:07:45	前回のヒアリングの際に説明させていただいた事項としまして右下のところに、と線形足し合わせてリーマックスの位置付けというところが掲載してございまして、
0:07:55	ここの保守性の考え方、表の中のところを読み上げさせていただきますと、同一波動場での津波解析では T M A C C S による評価結果が大きくなるとは限らないことを踏まえ、
0:08:07	時間差のパラメータスタディを実施した上で最大ケースを選定することから保守的な検討となる。
0:08:13	というこちらの方針に基づいて検討した結果というところで、時間差のパラメータスタディを概ね網羅と時間差の範囲、
0:08:23	T s から T s T D という範囲の中で、概ね時間を網羅する形でパラメータスタディをした結果を説明させていただきました。その中で、
0:08:33	範囲の中でパラメータスタディを概ね網羅しているので保守的な検討。
0:08:39	というところで、すなげそうなるのかというところの分析がちょっと足りないというところを当社の方で考えましてその分析に関する資料を、
0:08:49	現在作業として進めているところです。
0:08:53	具体的な作業としましては、
0:08:56	ページで言いますと、
0:08:58	あと 50、48 ページ等をお願いいたします。
0:09:06	こちら 48 ページ、こちらの資料の目的としては、T M A C C S を算出する考え方について書いているものですが、
0:09:16	組み合わせた場合に、どういう状況で水位が大きくなるかっていうところの分析に関する資料というところで、日本海東縁部に伴う津波のは形と、
0:09:26	下段に陸上地すべり川白あのは形が並べてございます。この下のところにですね絵と組み合わせた場合のはけがどのようになるかというところを、この三つ並べた上で、
0:09:38	どういうメカニズムで次が上昇するかっていうところの分析をかけようと思っております。現状この資料ですと、記載例というところでケース①のみを掲載してございましたが、
0:09:52	ケース①の例だけではなくて、ケース①から⑳と、
0:09:57	と結構ケース数が多いというところでたくさんのケース数に分析、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:02	をするというところで現在作業に時間を要しているというところで、時間がかかっているというところが、検討状況になっております。ちょっと具体的な
0:10:12	比較によって何がいえるかっていうところは現在検討中というところなので現時点では申し上げることができないというところが実情でございます。ご説明以上とさせていただきます。
0:10:26	規制庁谷です。
0:10:29	そうですね。あれ、あれですかねは家計の重なり方を、各ケースにおいて、分析してて、ある程度、それも、ただ張るとかじゃなくて細かくどこが重なるかみたいなの。
0:10:43	説明を加えるようなことをしたいと。それが、1個1個は多分、すごく手間のかかるような、
0:10:53	分析というと、それぞれの手間なんだけどそのケース数が、
0:10:59	すごく多いから、特にこう時間もかかりますよと、そういうことですね。で、今それを進めている中で、特に
0:11:09	何て言うんですかね、今の段階で、
0:11:12	分析としてこうこうなりそうだとか、こういうことが言えそうだとかそこまでは到達。
0:11:19	していない。それはあれですかね全部、ある程度こう並べてみないと何とも言えないとか、そういうことなんですか。
0:11:38	北海道電力の奥寺でございます。実作業の方言いますと、データバッファされているわけではないので、
0:11:47	このこういうハケを出すとかっていう話になりますと、
0:11:53	計算をそのためにやって、その指定したものを出していくというような、
0:11:59	そういうことになりますので、
0:12:01	今、
0:12:02	計算している作業と、取り出しデータの取り出す作業をまず実施しているっていうのが実情。それと、
0:12:10	1個以降はもちろん見ていくんですけども全体並べた上での比較した傾向、統合が見えないかどうかというところも考察していきたいと考えておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:23	それは後段の作業になりますけれども、1個1個のデータ出力分析作業等、全体のその後段の全体の作業を含めていくと、少し時間をいただきたいというような状態でございます。以上です。
0:12:42	規制庁タニソフトの出力っていうのがちょっとイメージができてなくて、
0:12:48	これ単体単体、単体はもう
0:12:54	あるん。
0:12:55	んじゃないくて単体もそのチャンピオンの位置が変わるから、単体の葉系も再度出し直すってことを言ってるんですか。
0:13:09	北海道電力の奥寺です。は形を出すときっていうこのは形が欲しいって言った形で取りに行くような形になっていてもともと出してないケースが多いので、
0:13:21	出すために計算回すっていう作業が入ってございます。
0:13:24	例えば、
0:13:25	48ページで言いますと、
0:13:28	たまたま0、ケース1の例で、
0:13:32	何て言ったですかね、本東縁部に想定される地震に伴う津波の最後の取水口前面を出すっていうと、出すっていうような、
0:13:41	段取りをして計算回すっていうのでその時はあるんですけど、例えば他のものを指定していないと、これを出せということをやっていないと、手元にデータが残らないので、
0:13:53	今回全部、ケース1からケース20までいろいろ出してみようというのがあるものとないもの、ほとんどがないんですけれども、それを計算しているということです。はっきりを出すためにですね。
0:14:04	はい。以上です。
0:14:23	北海道電力の青木です。ちょっとは形を出すフェーズの前に、津波の解析というものをしまして、そのアウトプットでこのハケ方に出てくるというものではなくて欲しい地点のは形を出す。
0:14:38	というアウトプットの作業というとちょっと解析というとちょっと別だと思うんですけどそのアウトプットの作業にちょっとテーマがかかっているところが実情です。
0:14:48	アウトプットという作業で、日本海東縁部の津波と川白の津波単独についても出すのと、あと重畳させたものを組み合わせたものについても出さなきゃいけないというところで、ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:01	あたりの作業で時間をとっているというところになります。以上です。
0:15:14	すいませんちょっと今規制庁の名倉です。
0:15:17	今組み合わせたものって言ったのは、
0:15:21	単独のものを組み出力してれば組み合わせは足し合わせなので、
0:15:27	それは単に後から足し合わせるだけの話なんで、組み合わせした場合の出力点っていうのはそれは同一波動場での計算のことを言ってるっていう理解でよろしいですね。
0:15:38	北海道電力の青木です。認識の通りだと思ってます。江藤タニ組み合わせのはシステムを説明しましたが、線形足し合わせのものではなくて、
0:15:48	当同一ハードバーで、最大なる時間差を設定したものを、
0:15:53	出力しているというところになります。以上です。
0:16:00	規制庁名倉です。
0:16:02	それが出力点として、
0:16:06	複数必要になるっていうこと。
0:16:11	だから、標準的に出力する点というのは、
0:16:17	12345678 ぐらいの、
0:16:22	パターンがあるんだけど、
0:16:25	そこのところが各最大の正規、そっか。
0:16:31	君がわかりました。
0:16:33	これ、
0:16:35	それぞれ全部、
0:16:37	時間が違う場合もあるから、それで出力点が増えてるってことですかね。
0:16:44	ケース 1 からケース 20 まで。
0:16:51	組み合わせ時間範囲っていうのがあって、
0:16:55	その中に、出力点がたくさんあって、
0:17:01	出力点というか、それで、その視点ごとに、
0:17:04	生起時間が違う。
0:17:07	ということになるので、
0:17:08	それを全部出力をしようとしてるから、だから、結局、
0:17:13	下手するともう 1 回計算やり直したのと同じぐらい時間かかっているということでしょうかね。
0:17:33	北海道電力の青木です。藤氏、ちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:39	丁寧に説明させていただきますと、出力してる派遣については代表地点のもので出力しております。具体的な場所としては、例えば、48 ページ、3号取水口ですと、
0:17:53	3号取水口の前面というところで、
0:17:59	取水口の前面については取水口のわずかな範囲の最大値というわけではなくて取水口の前面の1地点のみ出力しております。同じく12号の取水口も代表地点、
0:18:12	コース以降についても代表地点というところになります。
0:18:15	ただ傍聴で前面というところはちょっと、
0:18:18	は系ごとにいろいろ最大地点が違っていたりしてここもちょっと分析がまだ追いついてないので具体的な出力場所も定まってないというところが正直なところですが、
0:18:28	先ほど申した3地点のところでは形を出力しております。で組み合わせたものについては、組み合わせの結果、
0:18:38	同一波動場の組み合わせの結果、
0:18:41	各項目で整理が最大になる、P A等、
0:18:45	順次組み合わせの時間差をそれぞれ設定してというところになりますので、
0:18:51	ここはちょっと地点というよりかは、時間軸のところ、組み合わせの時間差を設定しなくてはいけないというところでちょっと時間がかかっております。
0:18:59	規制庁の永江佐田氏が言ったのは56ページ以降、
0:19:08	ケースがあって、
0:19:10	ケース1から多分20までであると思うんですけど、
0:19:13	組み合わせ時間範囲の中で、それぞれの評価点で、組み合わせの数、組み合わせというかす。
0:19:21	T M A C C S あこれ線形足し合わせか。
0:19:24	これが
0:19:28	例えば線形足し合わせではなくて同一波動場で計算した場合の、
0:19:34	最大猪尾その生起時刻というものが、場所ごとに違っているので、
0:19:41	それを全部出力してるっていう理解でよろしいですかって聞いただけです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:49	北海道電力の青木です。ここではT M A C C Sの最大値書いてるんですけど、これをドイツはババの最大時刻に置き換えたようなもののイメージで、この派遣を出力していると。
0:20:00	いう理解でいいと思います。なのでナグラさんのおっしゃってることと、当社の認識は合っていると考えております。以上です。
0:20:23	規制庁の名倉です。
0:20:25	なんかそういうのって、
0:20:29	考察に必要なデータとして最初から出力しておけばよかったんだけど、
0:20:33	解析を流して
0:20:36	多分バイナリーファイルで吐き出すと思うんだけどそれが莫大な量になるのでなるべくデータセットを限定しようということで、
0:20:46	多分出力する時間も時間軸として、ままならないというか、出力点をふやすと書き出す時間が上乘せされるので、そういうことでなるべく計算時間を省略するために、
0:20:59	本当に必要な点だけを出力データセットで出力するように調整をしたのでそれで何とかやってきたんだけど、
0:21:09	出力が足らなかったんで、今、出力をするための解析をしているっていう、そういう状況だということで、以下よろしいですか。北海道電力奥寺でございます。
0:21:21	前回の説明にあたって資料構成をするのに、
0:21:26	その当時の感覚としてね、めぐっていたわけではないんですけども、説明に必要な、
0:21:35	ファイルを落としていたと。
0:21:37	ということで、ただ事実確認を踏まえた上でいろいろ分析が必要になるので、そのデータを落とすために、作業が必要になっている。
0:21:48	今、名倉調整官がおっしゃった認識と同様でございます。
0:21:53	以上です。
0:22:00	はい、谷です。
0:22:05	2点あって、まずそれ、多分、今週の会合で、そういうことを今そろえてますっていう説明を聞いたときに、いやいやそこじゃなくてこうやって絞ったらいいいんだよとか、
0:22:17	何かいろいろご意見が出るかもしれないんで、その今の、何ていうんすかね 16日のタイミングで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:26	どれぐらいその、いや、その場でやり方変えろって言われてもみたいなのがきっと出てくるのかもしれないんですけど、どれぐらいの、このやろうとしてるまずこの
0:22:37	単純なこう先出作業みたいなのはもう終わってるような段階になるんですかその16日のタイミングでは、
0:22:45	また、
0:22:46	何割ぐらい行きそうなのかっていうのをちょっと教えてください。
0:22:49	北海道電力の青木です。現時点というところろ、
0:22:56	次回の会合までにどこまで進んでるかというところなんですが、
0:23:00	当見込みの部分もあるんですが、日本海東縁部に伴う地震伴う津波単独と陸上地すべりの交わしらの単独については、その組み合わせの時間差を考慮する必要はなくて単独だけであれば、
0:23:14	一通り出力は終わって整理が完了しているというところになります。ちょっと組み合わせについては、ちょっと作業中というところもありますので、
0:23:25	ここがちょっと、
0:23:27	次回の会合までにどこまで整理できるかってところが今時点ではちょっと説明ができないかと思います。
0:23:36	はい。状況はわかりました。
0:23:39	あとはですね、とにかく作業今もう始めてますよということなんですけれども、この何て言うのかな問題意識というか、ちょっとヒアリングで
0:23:53	確認した。
0:23:56	我々の問題意識は、本当に波源がこれで、
0:24:04	選定っていうのがですねこの考え方で十分なのかっていうような、ちょっとそういった
0:24:10	確認をしたと思うんですけど考えのですね、
0:24:14	それについて、やっぱり北海道電力として、
0:24:20	問題意識を、何ていうんすか、そのときに気が付いて、やっぱりこういう分析が必要だかっていうそそんな判断をしたってということなんですかそれ。
0:24:32	うん。
0:24:33	それとも何、何て言うんすかね
0:24:36	何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:39	うん、こうこうこういうのもやったんですかね、もう意識がちゃんと伝わった上で、やられているのかっていうその辺の間、感覚をちょっと。
0:24:50	確認させてください。やっぱここまでやんなきゃいけないと思ってる。
0:25:15	北海道電力の奥寺でございます。今、我々が考察というところの目的意識として持っているのは、
0:25:29	あのT M A C C Sを起点にいろいろパラスタをやっていったら結果して
0:25:35	幅広い範囲のを、
0:25:39	パラメータスタディ結果が、ということになったということを前回説明させていただきましたけども、それが、
0:25:46	全体として保守性を持っているのかというところをもう少し、
0:25:51	数値的なものに基づいて技術的な考え方を教えできないかというところが1点と、
0:25:58	あと整理した中で、
0:26:00	もともと
0:26:04	例えば区分で言いますと、七つぐらいありますけれども、この七つ。
0:26:09	この東縁部の波源として、
0:26:12	最大級が出るかと思われていたところに対して、
0:26:16	結果して、入れかわるような部分が、波源元と組み合わせる波源が入れかわるような部分が出てきたと。
0:26:24	というようなことが、事実としてありますのでそれは何たるかっていうところを、は形をつぶさに見るとこの二つの目的で、のような細かい作業を、
0:26:35	やっているという、そういう問題意識で進めてございます。以上です。
0:26:45	はいたんですそうですねその結果がやっぱり最後入れ替わってしまっている中で、この結果をどうとらえるのがいいのかっていうのに対して、多分、
0:26:55	何で結果が入れ替わっているのかとか、資料として、我々は、何て言うのかな、は形を見れない状況にどことどこが重なってるのか、そういうのもあるし、
0:27:10	多分何かいろいろ、
0:27:12	分析を、
0:27:14	行う。
0:27:16	どういう波源が重なるのときに、こう聞くとパターンのお話なのか断層パターンのお話なんかは現位置のお話なのかとか、そうなのがある、多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:26	説明がないと、ちょっと
0:27:30	だと、妥当なのかどうなのか全体の
0:27:33	プロセス含めて、
0:27:34	我々はちょっと判断
0:27:38	できる材料が、今の部分ではちょっと難しいかなというふうな、
0:27:43	考えていたというのが前回のヒアリングの確認事項ですので、その辺は伝わってるってということではい。
0:27:50	北海道電力奥寺でございます例えばですね、136 ページご覧ください。
0:27:56	組み合わせの最大ケース一覧とって、
0:28:00	評価値と、
0:28:02	断層の
0:28:04	パラメータ的なものが結果として出ているってということに対して、何でこの、
0:28:09	数 g。
0:28:11	この断層パターンの組み合わせが東縁部のときは、
0:28:15	ああ、ああだったじゃないのかっていうところの間の部分が、見えてない部分がありますのでそこはは形。
0:28:23	東縁部単独。
0:28:25	川白の葉系。
0:28:28	そして、重畳の結果ということで、①から⑳まで先ほど青木が言いましたけども、代表的な地点を
0:28:37	洗い出したときに、どのようなところで、この
0:28:43	結果して 136 ページの結果が出ているのかというようなところを、大波稲見と加治系列の
0:28:51	波を見てみないとは、まずわからないだろうということであんな作業を進めているということ、間を埋めるような作業をしているということでございます。
0:29:10	規制庁のナグラです。
0:29:13	まず、今回、
0:29:16	ある程度
0:29:18	網羅的に解析をしてみて、
0:29:21	それでどういう問題点が認識されたか。
0:29:24	ということでは、
0:29:31	線形足し合わせ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:34	T M A C C S による評価結果が大きくなる。
0:29:38	大きくなるとは限らないと。
0:29:40	ということで最大ケースを、
0:29:44	同一波動場の計算で、
0:29:46	確認しなければいけなくなっただけのこと、
0:29:50	等、
0:29:53	実際波源ごとに、
0:29:58	各評価点から波源ごとに、
0:30:02	波源を選定したのはまず、
0:30:04	ある評価点で、どういふ言えはいいのかな。
0:30:08	これはどっちが先なのかな。
0:30:11	例えば 8 ページとかで、
0:30:13	当初選定しているのは、
0:30:17	評価点ごとに、
0:30:22	そっかどっか地形モデルが 4 種類あって、それごとに、まず波源を線選定しているのは、
0:30:33	モデルごとに、各評価点での、
0:30:37	最大を生起する波源は何か、
0:30:42	ということを押さえてそれで限定していたんだけど、
0:30:48	実際は、
0:30:54	それ以外の、
0:30:56	評価点において、
0:30:59	最大となる波源が、最大になるケースが入れかわりが生じた。
0:31:06	というところの二つ問題点があって、それがどうして発生したのか、その結果として、136 ページの、
0:31:16	損傷状態と各評価点の波源の選定に結びついているのかというところの因果関係を、
0:31:26	検討しようとしたら、禿の出力が結構必要になりましたと分析に。
0:31:33	それを要はやらないと。
0:31:36	今回選定している波源。
0:31:39	が、
0:31:41	もう入れかわりませんと、これが保守的だと、ということが、説明できなくなったと。
0:31:48	だから、やらなきゃいけないんですってということなんですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:53	何かそこら辺今やっていることが必ず必要なんですと。
0:31:58	この今やっていることの妥当性を説明するために必ず必要なんです。
0:32:03	そんな時に今回どういう問題点が起きてそれを解決するためにどういうことが必要だったってということとあわせて、
0:32:09	ちょっと1枚紙ぐらいにして、
0:32:13	出した方が、ちょっとわかりやすいんじゃないかなというちょっと気がしました。
0:32:18	今回の会合の目的っていうのは、
0:32:21	北海道電力が、ヒアリングで私たちが、結局、何でこうなってるのって変わってるところ二つ、今、こちらが質問してどうしてって、
0:32:32	そこは何か考えがあるんですかって、ていうことをこちらが質問したことを踏まえてそれをやろうとしたわけですね。
0:32:41	で、
0:32:42	それをもう非言っていただいて構わないので、その状況で、時間がかかるということがわかって今こういう状態になってるんです。
0:32:53	時間軸としてはどれぐらい余分に、この組み合わせの結果に対しての資料提示。
0:33:00	に時間がかかるかっていうことも、
0:33:03	そこで説明してもらえばいいかなと。スケジュール関係の何か別途の資料、あれを今週金曜日に出すのが可能であればいいんですけど、
0:33:14	なかなか難しいのであれば、少なくとも今組み合わせのところがいづ、当初出そうとしていたものがどれぐらい遅れるのか。
0:33:23	ということがわかるようになってればそれでいいのかなと思うんですけど、ちょっとそういったところを1枚紙にしてもらった方がいいかなあというふうにちょっと思いました。
0:34:01	北海道電力奥寺でございます。
0:34:03	問題意識は何かっていうところと、それに対して、
0:34:09	どのような足りないものが何でどういう作業が必要となって、
0:34:15	それーを仕上げていったときにどの程度時間が欲しいんだっていうところがわかるように、
0:34:22	何か簡単な簡単感、
0:34:26	簡単、わからなるべくわかりやすく説明できるようなものを、
0:34:30	そろえたいと思います。
0:34:32	1点ちょっと確認なんですけど先ほど調整官おっしゃってた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:36	平 8 月 22 のヒアリングの中で、
0:34:41	我々が、
0:34:42	事実確認の中でこういうような、事実確認があったと認識しているものを、
0:34:49	それを明示しても良いというように先ほど言ったような気がするんですけどもそういう認識で、
0:34:56	契機となったところっていうのは、明示してよいという、
0:35:01	その認識でよろしいでしょうか。私の認識合ってるでしょうか。
0:35:05	名倉です。
0:35:08	こちらが要は変わったところが 2 点、想定していなかったから 2 点発生したわけで、それに対して、それはその理由、どうして分あったんですか。
0:35:18	そこら辺はどういうふうに考えているんですかということをごちからから聞いたのは事実としてはそれは谷さん、
0:35:28	確かにそうなんですよね。であれば、
0:35:32	それでいいと思います。
0:35:37	北海道電力奥寺でございます。わかりました。
0:35:47	北海道電力藪でございます。後工程の資料なんですけれども今ファンペーパーを用意する中には、津波の作業間、作業工程については、
0:35:59	記載させていただきますそれで例の、
0:36:02	3-2 の方の資料はですね
0:36:08	今ちょっと社内整理社内確認をされていて、
0:36:12	あれ、水曜日、14 日
0:36:16	の日に、火山のヒアリングをやっていただくのでそこでは御説明。
0:36:21	したいと思っております。
0:36:25	それぞれ、そのときには用意してるのをそのまま、ちょっと会合に持ち込んでいいかどうかっていうのはちょっとあるかと思うんですけども。
0:36:33	ちょっと時間かかってて申し訳ございませんが 14 日にはご説明差し上げたいと思っております。以上です。
0:36:43	清町の名倉です。もしそういった資料がまだ、ここんところは、
0:36:50	確定はしてませんけどっていう状況でも出せばいいんですけど、もし出せない場合であったとしても、
0:36:56	今回のこの組み合わせの不具合津波に対していつ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:03	提出していつ介護ということを想定していたんだけど、新たに作業が発生したのでそれが資料提出がどれぐらい遅れて、
0:37:13	介護の見通し、介護の見通しですけど資料提出がどれぐらい。
0:37:17	くれてというところですねそこら辺が、ちょっと、
0:37:22	時間間隔としてわかるようにしてもらえばそれは一つのやり方なのかなと思います。
0:37:29	北海道電力奥寺でございます。
0:37:32	ワンペーパーの方にこれから作ろうと思ってるワンペーパーの方にその辺のずれとか工程感についても、津波に関するですね、わかるように明示したいと思います。
0:37:43	以上です。工程は工程なんですけど、明日、火山、明日さでの火山のヒアリングに出す工程は工程として、1枚ものでも、津波の
0:37:53	固定化についてわかるように明示したいと思います。以上です。
0:38:01	谷ですけど、その辺のペーパーを堂々と介護支援するかはまた後でちょっとお話をしたいと思います。
0:38:08	ちょっと念のため言っときますけれども、
0:38:12	派遣がね、
0:38:15	同一波動場で、一体計算したときにチャンピオンのケースが変わるっていうことが起こり得るってそれを我々も十分わかってるんですね。
0:38:25	だけれども、今回の場合は、
0:38:28	例えば86ページだとか、こう見ていくと、
0:38:34	もう全然違うものが、
0:38:38	前々日、違う評価時点で最大になったものが別の評価地点で最大になっても同じものがほとんどないような状況になっていると。特に下降側で選んだ派遣が、
0:38:50	上昇側でのチャンピオンケースになっているっていう、なんかすごくたくさんの波源では評価時点でそういうことが起こっていること、これがちょっとですね、
0:39:03	何か幾つかのうちの1個とかだったら、それは全然起こりうることだと思ってますけど、こうこうこう、理由があるはずなんですってこういった
0:39:14	変わっていい。
0:39:15	チャンピオンケースが違う波源になるっていうのはその辺をしっかりと説明し、Cしないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:24	その辺が説明できるような資料を今、作られている。そのためには、あれですね波源をちゃんと分析することは元じゃないは形をちゃんと重ねる、重なり合わせの状況というのを分析するのが、
0:39:39	必要っていうふうに考えてる、そういうことで考えがいいんですよ。
0:39:56	北海道電力奥寺でございます。目標としてるところはそういう認識です検討途上なんですけれども、はい。以上です。
0:40:06	ちょっとこれくどくってあんまり答えにくい話かもしれないですけどそういう何て言うんですかねこ北海道電力として8月22日のこの出すタイミングでは、
0:40:18	そこについてはあんまり意識していなかった、当然その組み合わせると変わるもんだしぐらいで、あんまりこう、
0:40:28	下降側が来ちゃう、上昇側のチャンピオンなることが、
0:40:31	どういうことなんだろうなみたいな、あんまりそういう話は社内ではしなかったんですか。
0:40:41	北海道電力奥寺でございます。
0:40:44	リーマックス数というものを目安にして、ある程度幅広いパラストをやっていくという方針で進めましたけれども、
0:40:53	結果して、
0:40:55	5秒ピッチということで、ハケとしてPEEKとらえられてるという結果が出てきたので、全体として、
0:41:03	網羅されているだろう、もう保守的な検討になっているだろうというような判断をしております、
0:41:10	それで、
0:41:11	出てきてる数値に関しては、かなり保守的なものを見ているだろうという判断で、
0:41:19	8月22日は、説明させていただいております。
0:41:23	以上です。
0:41:26	荒谷ですはい。お考え確認できました。
0:42:06	規制庁単位ですけど、ちょっとなんかは系の部分今の単体単体、重ね合わせみたいなのをこうなんか並べて、
0:42:17	示して分析したいっていうことなんですけど、あれなんすかね
0:42:23	波及って何なん十分何十分のは形が出ているのに対して、
0:42:29	大事なところってというのが、私何十分じゃないですね。
0:42:33	180分ぐらいの行は形が出てるんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:37	多分重なり合わせの部分っていうのは、
0:42:41	今の北海道電力の
0:42:44	検討では、何百 100 何十秒ぐらいの話っていうか、かなり公務狭い範囲の話ですね。だから、
0:42:52	それを示すのに全体のは形っていうのはあってもいいのかもしれないと特にその重なり合うところがどこなのかみたいなのをちゃんと
0:43:03	認識できるような校舎、尺度とかで、締め示すようなことを考えてるってことでいいですか。北海道電力奥寺でございます。全体のハキノ特徴はもちろんなんですけれども、
0:43:16	我々の行ってる T s から T s プラス T D という間の、この
0:43:21	重なり具合というのは、解析結果として、同一アドベンの解析結果としてどう出ているのかっていうところが、
0:43:29	肝かなと思っておりますのでそういったところがわかりやすくなるように、我々なりに認識して作業を進めようと思っているところです。
0:43:39	以上です。
0:43:43	はい、谷です。状況はわかりました。
0:44:14	北海道電力の方から何かこう、
0:44:18	例えば会合の救急趣旨だとかその辺とか含めて確認しておきたいこと等ありましたら、
0:44:36	北海道電力でございます。はい。今ここでやりとりさしていただいた中身で、
0:44:44	我々まとめようとしている方向は、一致してるかなというふうに考えておりますんでその旨を、
0:44:51	金曜日の日のコアペーパー用意して、ご説明させていただくと、で、
0:44:58	どれぐらい時間が必要かというところも含めてですね、ご説明させていただくというところは我々も確認いたしましたので、
0:45:06	そのように対応させていただきたいと思います。以上です。
0:45:14	望月。
0:45:24	タニです。多分会合は、こういう方針っていうのが、具体的にペーパーのない中で話しご議論っていうのが行われます。
0:45:34	で、多分こういったものをこうか考えがなかなかわかりにくい中での口頭でのやりとりっていうことになろうかと思っておりますので、そこはですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:45	規制庁が言ってることに勘違いがあるとか、そういうのがあったらそれ北海道電力としていやこれは必要なんだとかその主張はですね、しっかりと会合で、
0:45:56	され、されたらいいかなと。
0:45:59	こう思いますので、だから今の検討がどういうふうにならっていくのかというのをきっちりとですね、説明するここだけは絶対大事だとか、そういうのは、
0:46:09	しっかりと整理して、会合に臨んでいただけたらと思います。
0:46:13	ということで、下のヒアリングはこれで終わりにしたいところですけど、夜もよろしいですね。
0:46:20	はい。
0:46:21	それではヒアリング以上にします。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。